

「この輝きと同じ輝きには会えないから」

県立神戸高等学校長
新谷 浩一

○ BEFORE

新たな花が部屋を訪れました。青いリンドウと足元を飾る小菊の対照が際立っています。『夏の終わり、秋の訪れを教えてくれるのがリンドウのようです。秋と言えば物寂しさを感じる季節でもありますよね。夏休みでたくさんできた思い出を少し時間が経った今、振り返ってみると、いつかなくなってしまうのだろうかと思い込んでしまいます。』

でも、私たちの心の中ではどんなに時間が経っても消えるものではないのだと思います。だから、今日リンドウを生けた時間やクラスの友達と笑い合った瞬間のように、消えない思い出が増えていく分、神戸高校で過ごす日々を大切に大切にしていきたいと思います』そんなメッセージをぎっしりと書き綴ってくれたペーパーが添えられています。有り難う。



神戸高校の日々。僅か1週間のうちに主題が「めざせ合唱コンクール」から「体育大会がんばろう」に代わっていました。それでも続く長雨により、前日の予行練習の日は校庭が使用できる状態ではありません。やむなく体育館を利用しての学年ごとの分散練習。自治会執行部の生徒は短い時間で多くのことを伝えようと必死に頑張っていましたし、その説明を聞く生徒の皆さんも立派でした。



さて、その間、校庭では何が起こっていたか。左端の写真が朝です。ところどころにぬかるみがあります。それが昼過ぎには隣の写真のように変化していました。おとり号を用いて校庭全体を均し、細部は手作業でした。保健体育科の先生方の献身的な姿に私は心から頭が下がりました。



昼休みには体育大会のリーフレットを自治会の藤本副会長と高林さんが校長室に届けに来てくれます。実に洒落たデザインです。



当日の天気予報も 100%晴れること間違いなし。いい体育大会になる予感しかしません。否が応にも第79回体育大会への期待は高まる一方でした。

○ さて当日

ここ数日の雨が嘘のようにあがった秋の日、体育大会の幕は無事にひらきました。開会挨拶ではそのことには触れたいのと同時に、折角の緊張感を削がないよう何を伝えるべきかだけに拘って話すことにしました。

体育大会が、さんざん降り続いた雨が抜けた雲ひとつない青空の下で開催できることを、皆さんと共に喜びたいと思います。本当に雲ひとつない青空ですね。準備段階から自治会執行部や「神高のあゆみ」幹部の皆さんをはじめとする、全校生徒が時間を惜しまず準備を積み重ねてきたこと、天も見えてくれたのです。

さて、今大会のスローガンは「Q. E. D.」～僕らの青春証明完了～です。「Q. E. D.」つまり「僕らの青春はかく示された」との意になります。戦いですから、全力を尽くして勝ちに行くのは当然のことです。それが青春です。くわえて、もうひとついいですか。その全力に加えて、私からもうひとつお願いがあります。

私が高校生の頃、数学の先生に言われて今も忘れない言葉があります。「新谷の証明は正しいけど、美しいんや」という言葉です。当時は「正解であつたらいいやんか」そう思っていました。それでも自分が教員となり古典を教えるようになってから、自分自身も生徒に伝えていることに気づきました。「訳としてはそれで合ってるねんけど、もう少し美しく訳せると違うかな…」と。何かを表現するなら美しい方がいいですよね。

全力で競技と応援に挑むのはもちろん大切なことです、その際により美しく自分たちの青春を証明してくれたら嬉しいですね。それでこそ皆さんにふさわしい青春証明が完了するのですから。さあ、兵庫県立神戸高等学校の第79回体育大会は今日1日限りです。全力で美しく「青春証明」を完了しましょう。

朝、地獄坂で隣を歩く建石先生が空を見上げた時の眩き。「本当に雲ひとつないですね…」、それがあまりに印象的だったので、挨拶に入れこみました。坂を登ると、いつものように細野先生が書いてくださった看板が青空のもとで映えています。体育委員長の松浦さんもいつものように爽やかな笑顔満開で、体育大会のスタートです。



いい表情を追っていたら、写真がやたらと増えてしまいました。青空と笑顔、私にとってはとても贅沢な時間でしたね。



「子どもらしく無邪気に今を楽しめる幸せを嬉しく思います」という、閉会式での長沼副会長の素敵な言葉で幕を閉じた体育大会。紙面が尽きてしまいましたが吹奏楽部のマーチングや『神高のあゆみ』についても語りたいことが山ほどあるので、そのうち書かせてもらいますね。

今日は、今週末から青森県で開催される「令和8年度国民スポーツ大会」のバスケットボールに兵庫県代表として選抜され、この日が壮行会となった尾関葵衣さんと、今週金曜に開催される音楽会で日頃の成果を発揮するすべての神高生へのエールで締め括ります。神高生がんばれ。

